

道の駅整備事業建設工事
みどり審議会

R05.11.02

ちがさき未来プロジェクトグループ
茅ヶ崎市産業観光課

■建築計画概要

□事業の目的（要求水準書抜粋）

茅ヶ崎市では、平成27年3月のさがみ縦貫道路全線開通により、市のまちの活力・にぎわいにつながる環境の変化をとらえ、観光情報の発信や地産地消の推進となる農畜水産物等の販売、防災などの拠点となる新しい形の道の駅の整備を推進し、地域の活性化を図るとともに、市の魅力とブランド力の向上を図ることとしている。

これらのことから、来訪者に対する休憩の場や観光情報を発信する場となることはもちろん、地域の身近な交流の場となり、また高齢者の外出機会の増加や安全安心なまちづくり等を促進する新たな拠点となって、まちの活力・まちのにぎわいにつながることを期待できる「道の駅」を整備することを目的とする。

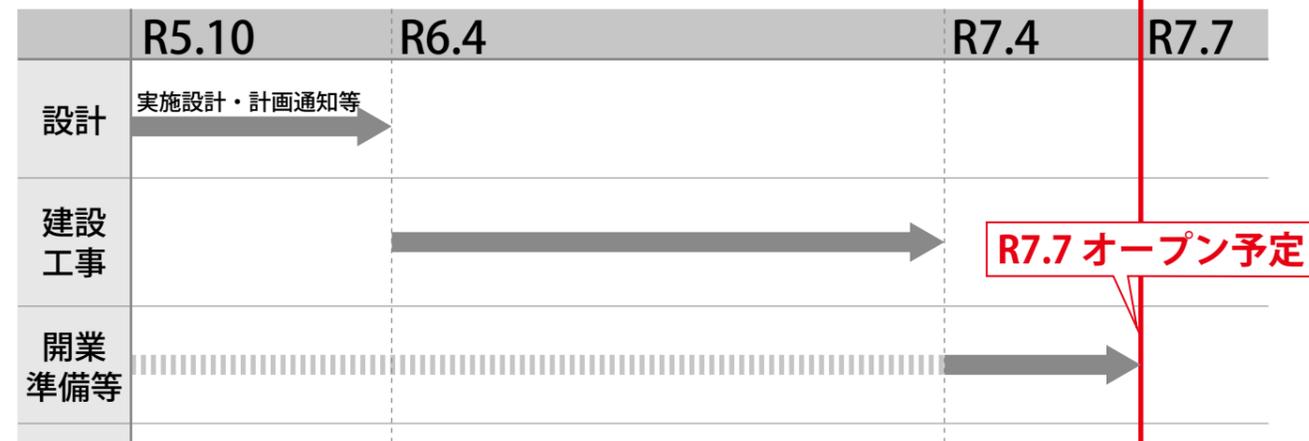
□計画概要

- 地名地番：神奈川県茅ヶ崎市柳島向河原
- 敷地面積：15,510.4㎡
- 都市計画区域：市街化調整区域
- 用途地域：指定なし
- 防火地域：法第22条地域
- 建蔽率／容積率：50%/100%
- 景観計画：海岸地域景観ゾーン
- 屋外広告：第2種地域
- 日影規制：10m以内3時間/10m超え2時間

□計画施設 棟別概要

1. 地域振興施設
 - 構造：鉄骨造 地上2階建て
 - 用途：飲食店・物品販売業を営む店舗
 - 延べ面積：2,124.7㎡
 - 最高高さ：9.3m
 - 耐火性能：ロ-2 準耐火建築物
2. 休憩施設
 - 構造：鉄骨造 地上1階建て
 - 用途：公衆便所
 - 延べ面積：419.1㎡
 - 最高高さ：4.2m
 - 耐火性能：なし

□事業スケジュール



□付近見取り図



□周辺施設

<p>柳島スポーツ公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.3 オープン（約6.5ha）（本市初のPFI事業） ・競技場、テニスコート、クラブハウス、コミュニティ広場、ジョギングコース、サイクリステーション、レストラン等 ・駐車場 246台 	<p>柳島しおさい公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H28.2 から神奈川県より移管された公園（約7.65ha） ・下水道終末処理施設の上利用 ・原っぱ、テニスコート、少年サッカー場、ミニバスケットコート等 ・駐車場 80台 	<p>柳島キャンプ場</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H30.4 から神奈川県より移管された施設（約3.65ha） ・湘南地域海沿いにある唯一のキャンプ場 ・管理棟、宿泊棟、ログキャビン等
--	---	--

茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略での位置づけ及び周辺道路緑化

「茅ヶ崎市みどりの基本計画 生物多様性ちがさき戦略」での位置づけ

1. みどりの将来像 「人と生きものが共生するみどりのネットワーク」
2. 基本理念 「私たちの生活と生物多様性を支えるみどりを協働により次世代に継承します」
3. 基本方針（1） 「人々が身近にふれあうみどりの充実」
4. 施策の方針
 - 【重点】施策③ 公共施設のみどりの充実
 - ・公共施設では、立地特性を踏まえて、市民の日常生活空間にうおいを与え、地域のモデルとなる緑化を推進します。
 - ・「⑨生物多様性の保全活動を推進するしくみづくり」に位置づけた緑化ガイドラインを活用するとともに、木材利用の指針の整備などを検討します。
 - 【重点】施策⑤ 道路のみどりの充実
 - ・道路整備や街路樹リニューアルにおいては、地域にふさわしい樹種による街路樹緑化を推進するとともに、国道や県道の道路緑化についても働きかけます。
 - ・道路整備後に残地が発生した場合は、交流の場としてのポケットパーク整備を検討します。
 - ・街路樹の効率的な維持管理を推進します。



道の駅整備地に接する市道0121号線（鉄砲道）南側歩道は、約380mの植樹帯を設け、ヒラドツツジ、サツキツツジの低木、斑入りマサキの中木を植栽し道路のみどりの充実を図った。

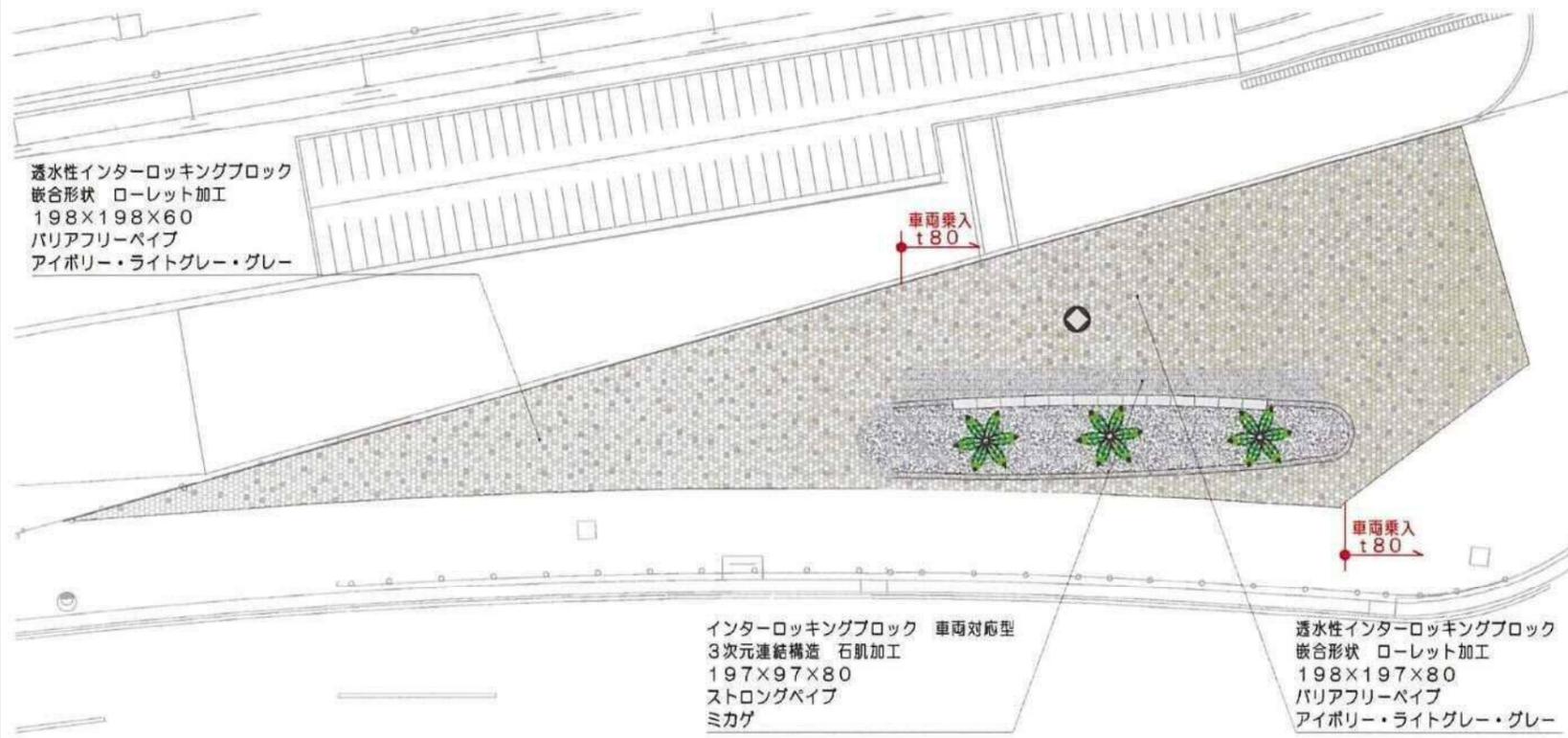


圏央道から道の駅に向かう位置にポケットパークを整備予定（別紙詳細）

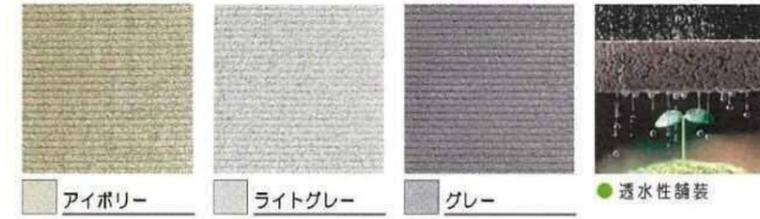


歩道の一部にポケットパーク（ソヨゴ、斑入りヤブラン、シバザクラ）を整備し、道路のみどりの充実を図った。

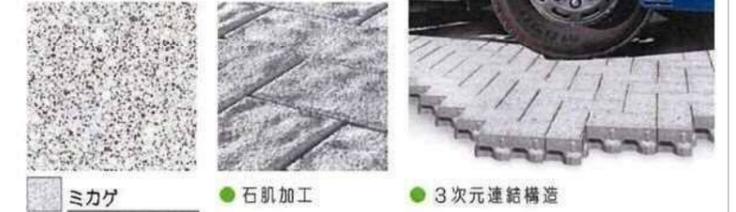




- 製品仕様 透水性インターロッキングブロック
嵌合形状 ローレット加工
- 製品名称 バリアフリーペイブ
- 製品寸法 198×198×60
198×197×80



- 製品仕様 インターロッキングブロック 車両対応型
3次元連結構造 石肌加工
- 製品名称 ストロングペイブ
- 製品寸法 197×97×80



改修後イメージ



サイン部イメージ

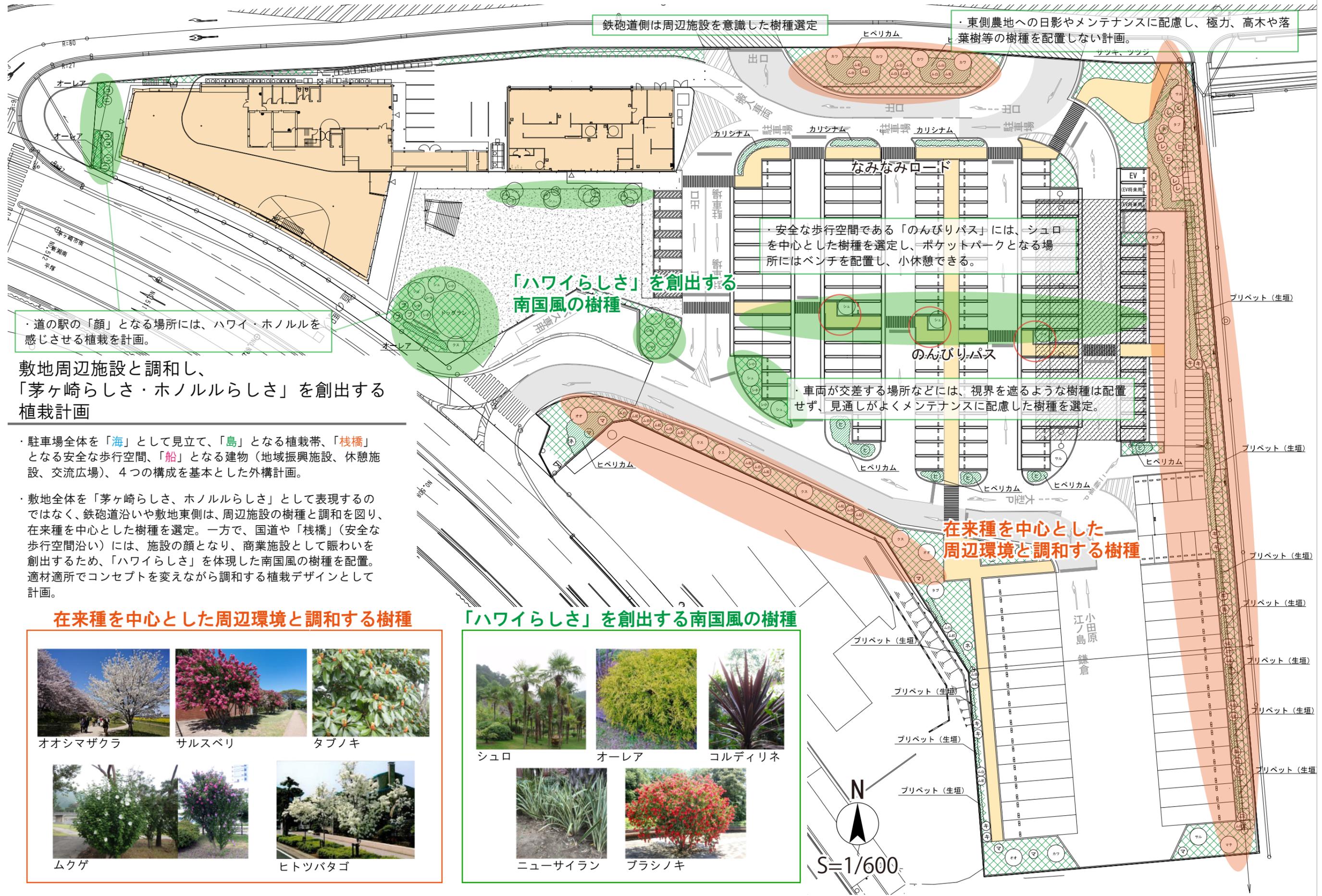


ベンチ部イメージ(昼)



ベンチ部イメージ(夜)





鉄砲道側は周辺施設を意識した樹種選定

・東側農地への日影やメンテナンスに配慮し、極力、高木や落葉樹等の樹種を配置しない計画。

・道の駅の「顔」となる場所には、ハワイ・ホノルルを感じさせる植栽を計画。

・安全な歩行空間である「のんびりパス」には、シュロを中心とした樹種を選定し、ポケットパークとなる場所にはベンチを配置し、小休憩できる。

・車両が交差する場所などには、視界を遮るような樹種は配置せず、見通しがよくメンテナンスに配慮した樹種を選定。

敷地周辺施設と調和し、「茅ヶ崎らしさ・ホノルルらしさ」を創出する植栽計画

- ・駐車場全体を「海」として見立て、「島」となる植栽帯、「棧橋」となる安全な歩行空間、「船」となる建物（地域振興施設、休憩施設、交流広場）、4つの構成を基本とした外構計画。
- ・敷地全体を「茅ヶ崎らしさ、ホノルルらしさ」として表現するのではなく、鉄砲道沿いや敷地東側は、周辺施設の樹種と調和を図り、在来種を中心とした樹種を選定。一方で、国道や「棧橋」（安全な歩行空間沿い）には、施設の顔となり、商業施設として賑わいを創出するため、「ハワイらしさ」を体現した南国風の樹種を配置。適材適所でコンセプトを変えながら調和する植栽デザインとして計画。

在来種を中心とした周辺環境と調和する樹種

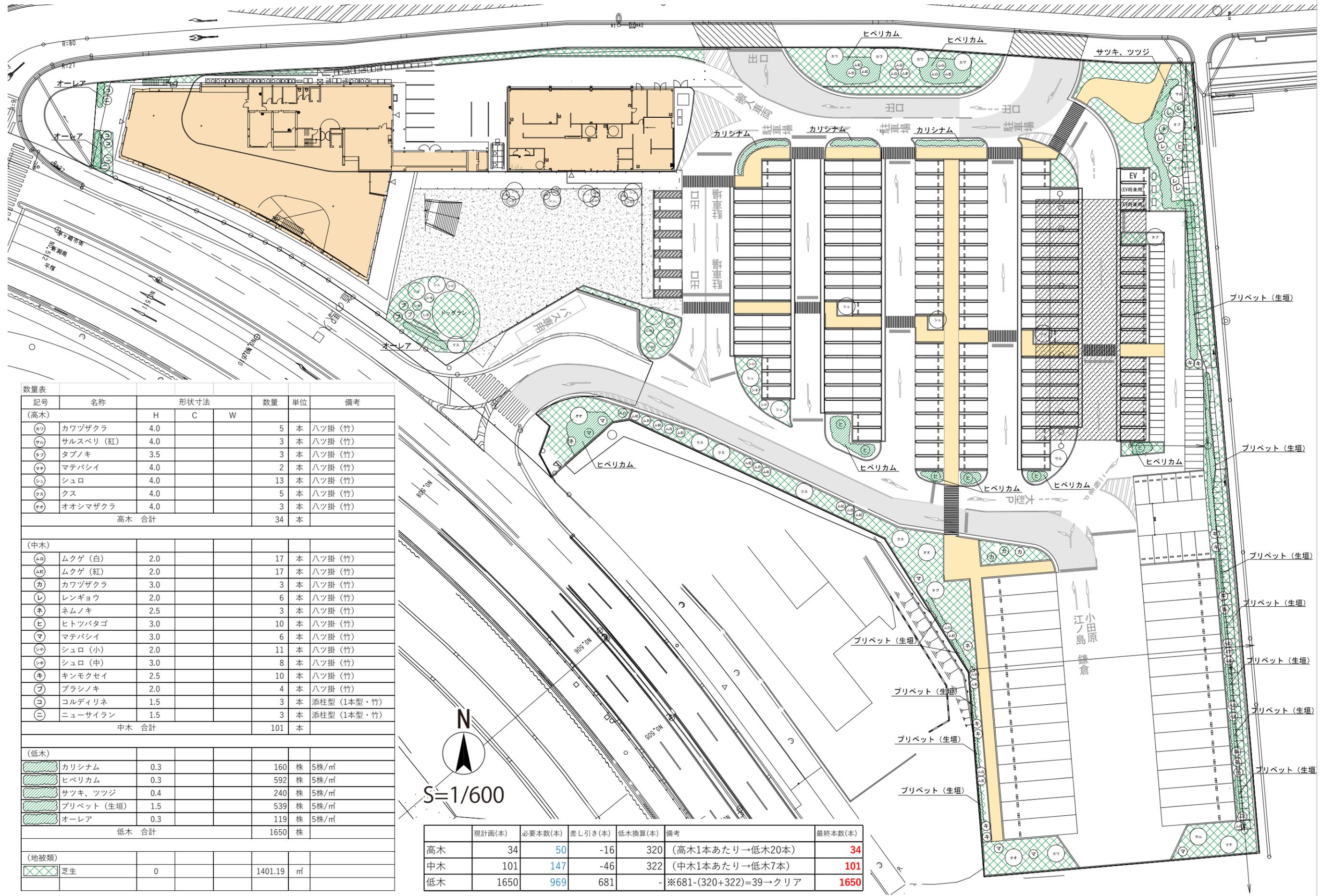


「ハワイらしさ」を創出する南国風の樹種



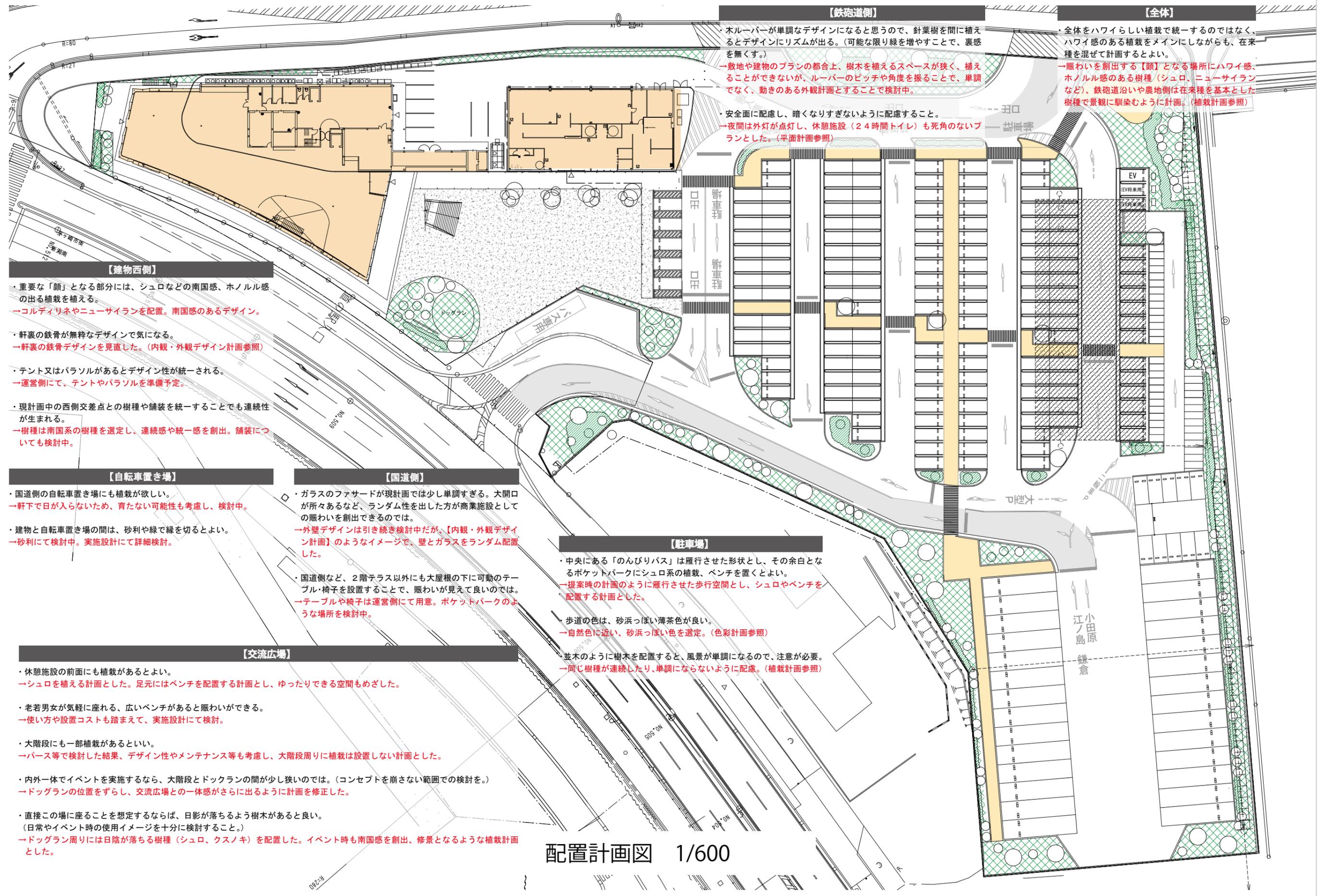
在来種を中心とした周辺環境と調和する樹種





記号	名称	形状寸法			数量	単位	備考
(高木)							
カワ	カワツザクラ	H	C	W	5	本	ハツ掛(竹)
サル	サルスベリ(紅)	4.0			3	本	ハツ掛(竹)
タブ	タブノキ	3.5			3	本	ハツ掛(竹)
マテ	マテバシイ	4.0			2	本	ハツ掛(竹)
シュ	シュロ	4.0			13	本	ハツ掛(竹)
クス	クス	4.0			5	本	ハツ掛(竹)
オオ	オオシマザクラ	4.0			3	本	ハツ掛(竹)
高木 合計					34	本	
(中木)							
ムク	ムクゲ(白)	2.0			17	本	ハツ掛(竹)
ムク	ムクゲ(紅)	2.0			17	本	ハツ掛(竹)
カ	カワツザクラ	3.0			3	本	ハツ掛(竹)
レ	レンギョウ	2.0			6	本	ハツ掛(竹)
ネ	ネムノキ	2.5			3	本	ハツ掛(竹)
ヒ	ヒトツバタゴ	3.0			10	本	ハツ掛(竹)
マ	マテバシイ	3.0			6	本	ハツ掛(竹)
シ小	シュロ(小)	2.0			11	本	ハツ掛(竹)
シ中	シュロ(中)	3.0			8	本	ハツ掛(竹)
キ	キンモクセイ	2.5			10	本	ハツ掛(竹)
フ	ブラシノキ	2.0			4	本	ハツ掛(竹)
コ	コルディアネ	1.5			3	本	添柱型(1本型・竹)
ニ	ニューサイラン	1.5			3	本	添柱型(1本型・竹)
中木 合計					101	本	
(低木)							
カ	カリシナム	0.3			160	株	5株/m ²
ヒ	ヒベリカム	0.3			592	株	5株/m ²
サ	サツキ、ツツジ	0.4			240	株	5株/m ²
プ	プリベット(生垣)	1.5			539	株	5株/m ²
オ	オーレア	0.3			119	株	5株/m ²
低木 合計					1650	株	
(地被類)							
芝	芝生	0			1401.19	m ²	

	現計画(本)	必要本数(本)	差し引き(本)	低木換算(本)	備考	最終本数(本)
高木	34	50	-16	320	(高木1本あたり→低木20本)	34
中木	101	147	-46	322	(中木1本あたり→低木7本)	101
低木	1650	969	681	-	※681-(320+322)=39→クリア	1650



【鉄砲道側】

・木ルーバーが単調なデザインになると思うので、針葉樹を間に植えるとデザインにリズムが出る。(可能な限り緑を増やすことで、裏感を無くす。)
 →敷地や建物のプランの都合上、樹木を植えるスペースが狭く、植えることができないが、ルーバーのピッチや角度を振ることで、単調でなく、動きのある外観計画とすることで検討中。

・安全面に配慮し、暗くなりすぎないように配慮すること。
 →夜間は外灯が点灯し、休憩施設(24時間トイレ)も死角のないプランとした。(平面計画参照)

【全体】

・全体をハワイらしい植栽で統一するのではなく、ハワイ感のある植栽をメインにしながらも、在来種を混ぜて計画するとよい。
 →賑わいを創出する【顔】となる場所にハワイ感、ホノルル感のある樹種(シュロ、ニューサイランなど)、鉄砲道沿いや農地側は在来種を基本とした樹種で景観に馴染むように計画。(植栽計画参照)

【建物西側】

・重要な「顔」となる部分には、シュロなどの南国感、ホノルル感の出る植栽を植える。
 →コルディリネやニューサイランを配置。南国感のあるデザイン。

・軒裏の鉄骨が無粋なデザインで気になる。
 →軒裏の鉄骨デザインを見直した。(内観・外観デザイン計画参照)

・テント又はパラソルがあるとデザイン性が統一される。
 →運営側にて、テントやパラソルを準備予定。

・現計画中の西側交差点との樹種や舗装を統一することで連続性が生まれる。
 →樹種は南国系の樹種を選定し、連続感や統一感を創出。舗装についても検討中。

【自転車置き場】

・国道側の自転車置き場にも植栽が欲しい。
 →軒下で日が入らないため、育たない可能性も考慮し、検討中。

・建物と自転車置き場の間は、砂利や緑で縁を切るとよい。
 →砂利にて検討中。実施設計にて詳細検討。

【国道側】

・ガラスのファサードが現計画では少し単調すぎる。大開口が所々あるなど、ランダム性を出した方が商業施設としての賑わいを創出できるのでは。
 →外壁デザインは引き続き検討中だが、【内観・外観デザイン計画】のようなイメージで、壁とガラスをランダム配置した。

・国道側など、2階テラス以外にも大屋根の下に可動のテーブル・椅子を設置することで、賑わいが見えて良いのでは。
 →テーブルや椅子は運営側にて用意。ポケットパークのような場所を検討中。

【駐車場】

・中央にある「のんびりバス」は雁行させた形状とし、その余白となるポケットパークにシュロ系の植栽、ベンチを置くことよい。
 →提案時の計画のように雁行させた歩行空間とし、シュロやベンチを配置する計画とした。

・歩道の色は、砂浜っぽい薄茶色が良い。
 →自然色に近い、砂浜っぽい色を選定。(色彩計画参照)

・並木のように樹木を配置すると、風景が単調になるので、注意が必要。
 →同じ樹種が連続したり、単調にならないように配慮。(植栽計画参照)

【交流広場】

・休憩施設の前面にも植栽があるとよい。
 →シュロを植える計画とした。足元にはベンチを配置する計画とし、ゆったりできる空間もめざした。

・老若男女が気軽に座れる、広いベンチがあると賑わいができる。
 →使い方や設置コストも踏まえて、実施設計にて検討。

・大階段にも一部植栽があるとよい。
 →バース等で検討した結果、デザイン性やメンテナンス等も考慮し、大階段周りに植栽は設置しない計画とした。

・内外一体でイベントを実施するならば、大階段とドックランの間が少し狭いのでは。(コンセプトを崩さない範囲での検討を。)
 →ドックランの位置をずらし、交流広場との一体感がさらに出るように計画を修正した。

・直接この場に座ることを想定するならば、日影が落ちるよう樹木があると良い。(日常やイベント時の使用イメージを十分に検討すること。)
 →ドックラン周りには日陰が落ちる樹種(シュロ、クスノキ)を配置した。イベント時も南国感を創出、修景となるような植栽計画とした。

配置計画図 1/600

